



運営協議会だより

第7号

代表 西澤 輝信 校園長 百合野 壽郎

第7回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日時 令和6年12月10日 17:00～18:00

■場所 落合第六小学校 図書室

■司会 副校長

【校長挨拶・学校の取組について】

17時には暗い季節となり、今年も残り20日となりましたが、本日もよろしくお願ひいたします。個人的には、手術や怪我に加え体調不良で大変な2学期となり、副校長はじめ周りには迷惑をかけ申し訳ない状況でした。先日は、5年生でインフルエンザの流行による学級閉鎖を行いました。その後は広がらずに落ち着いています。今週は展覧会の開催に向けて、学校全体が美術館になるような取り組みが予定されています。オープンスクールとのコラボレーションにより自主的な活動も取り入れ、子どもたちで作り上げていく体験もできています。ぜひ、皆さんも足を運んでいただき、子どもたちの作品を見ていただきたいと思います。

【おちろくカタルシカの動画視聴】

本校6年目となる図工の杉山先生と西澤会長の対談を視聴しました。図工を学ぶ意味から展覧会についてなど、興味深い内容となっていました。表現と鑑賞ということに加え、失敗と挑戦の必要性など、図工を通して学ぶことの大切さが伝わりました。

作品が完成するまでの過程、頑張ったことへの称賛、ぜひ親子で展覧会に来ていただき子どもを褒めて欲しいと思います。20日(金)は最終入場18:30になっておりますし、ライトアップした様子も見ていただければと思います。鑑賞後には「いいねカード」をたくさん書いていただけると、子どもたちも喜ぶますのでご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【代表挨拶】

展覧会では、子どもたちの頑張りを見ていただければと思います。杉山先生がカタルシカでお話していた「失敗しながら学んでいく」という図工を学ぶ意味、保護者としても考えさせられました。オープンスクールとのコラボレーションによる取り組みを、ぜひ地域の方にもご覧いただければと思います。

【意見交換】

- ・完成した作品を見てしまうが、出来上がるまでの過程も大切だと知った。
- ・ぜひ展覧会を親子で鑑賞して、褒めて欲しいと思った。子どもたちは親に一番褒めて欲しい。
- ・縦割りによる、異学年での鑑賞時間があることが、とても良い取り組みだと思う。
- ・いいねカードを書き、子どもたちに作品の感想を伝えてあげて欲しい。
- ・今年度はゲストティーチャーによる授業が多く開催され、今後は日本体育大学の先生と学生による授業も予定されている。今回は子どもたちだけでなく、教員も指導を受ける予定です。
- ・保護者向けに行ったアンケートが半数しか回収されていないが、どのように考えるか。
 - アプリの導入により、紙媒体からオンラインに移行したが、回収率は下がっている現状である。今後の課題として考える必要があるのではないか。
 - オンラインにより、必ず提出しなければという保護者の関心が薄れてしまった可能性もある。

【次回の予定】 令和7年1月21日(火) 16:30～

【出席者】

西澤 輝信、高田 英雄、原田 榮、橋田 稔、舘 次郎、亀井 治子、鯉沼 美香子、片岡 丈人(落合第二特別出張所長)、木村 小枝子(教育支援課)、百合野 壽郎、村上 珠子、水上 真理(書記兼務)、